

| | | | | | |
|-------------|------------|-----------|---|-----------|-------------|
| 第2日 8月6日 | 初心者 コース | 実技(モデリング) | " | 実技(石こう取り) | |
| | 上級者 コース | 同上 | | 実技(モデリング) | |
| 第3日 8月7日 | 初心者 コース | 実技(石こう取り) | " | 評価と全体会 | 開 講 式 |
| | 上級者 コース | 実技(モデリング) | | | |

(7) 参加者 45名

14. 音楽(器楽・吹奏楽)指導者講習会

- (1) 主催
福島県教育委員会・福島県吹奏楽連盟・いわき市教育委員会
- (2) 期 日 昭和48年8月1日(水)～3日(金)
- (3) 会 場
いわき市立草野小学校
いわき市立草野中学校
いわき市新舞子浜 平ユースホテル
(いわき市平下神谷字釜の台)
電話 平(0246) 34-4099
- (4) 講 師
東京交響楽団常任指揮者 小林研一郎
福島県吹奏楽連盟理事長 黒沢 才二 外 9名
- (5) 参加者 90名 生徒・児童 320名

15. 伝統工芸指導者講習会

- (1) 共 催
福島県教育委員会、福島市教育委員会、会津工芸新生会
- (2) 期 日 昭和48年7月13日(金)～15日(日)
- (3) 会 場
福島県文化センター3階ギャラリー
福島市春日町 TEL(34)-9191
- (4) 内 容
- ① 作品展示 『ふくしまの伝統工芸』
漆器 120点
陶器 30点
 - ② 講演
「私と作品」東京芸術大学助教授 六角大壤
 - ③ 展示作品解説者
県展招待作家 照井 久良人
" 佐竹 富三
" 関谷 浩二
 - ④ 研究討議 「これからの創作活動について」
- (5) 日 程

| 時間 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---------------|---------------------|----|-----------------------|----|---------|----|-----------------------------|-----|-----|
| 月日 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |
| 7月13日(金) 第1日目 | 展 示 | | 作 品 | | 一 般 公 開 | | 閉 館 | | |
| 7月14日(土) 第2日目 | 一 般 | | 公 開 | | (作品解説) | | | 閉 館 | |
| 7月15日(日) 第3日目 | 作品の 展示方法 について | | 講演 「私と作品」 六角大壤氏 | | 昼 食 | | 研究討議 「これからの創作活動 について」 | | 閉 会 |

(6) 参加者

| | |
|-------------|-------------|
| 儀 同 哲 夫(板塗) | 石 川 喜代治(蒔絵) |
| 志 賀 房 男(蒔絵) | 富 樫 洋 一(丸塗) |
| 熊 倉 清 一(蒔絵) | 井 上 武 春(蒔絵) |
| 鈴 木 幸 雄(丸塗) | 長 沢 邦 夫(丸塗) |
| 国 分 幸 一(蒔絵) | 江 川 甲(蒔絵) |
| 関 谷 浩 二(蒔絵) | 長谷川 靖 夫(蒔絵) |
| 加 藤 悦 郎(丸塗) | 江 花 光 泰(沈金) |
| 曾 根 英 昭(蒔絵) | 秦 隆 吉(蒔絵) |
| 斎 藤 四志男(陶) | 大 沢 周 一(蒔絵) |
| 棚 木 毅(板塗) | 宗 像 亮 一(陶) |
| 坂 井 一(蒔絵) | 大 関 直 男(蒔絵) |
| 手代木 閑 山(陶) | 物 井 孝 一(丸塗) |
| 佐 竹 富 三(陶) | 大 塚 栄 一(蒔絵) |
| 手代木 仁(陶) | 山 内 清 司(蒔絵) |
| 佐 藤 英 二(蒔絵) | 金 川 明(蒔絵) |
| 照 井 克 彦(蒔絵) | 山 浦 信 雄(丸塗) |
| 佐 藤 公 平(蒔絵) | 菅 藤 金 七(蒔絵) |
| 照 井 久良人(蒔絵) | 渡 辺 雅 旺(陶) |
| 佐 藤 幹(陶) | 菊 地 嘉 明(板塗) |
| 遠 宮 良 一(蒔絵) | 三 瓶 征 夫(蒔絵) |
| 須 藤 紀 雄(蒔絵) | 野 中 靖一郎(蒔絵) |

外 15名

新規事業であったが、県民から寄せられた関心は高く、今後とも継続して実施する必要がある。

16. 青少年芸術文化リーダーのつどい

- (1) 主 催 県教育委員会
(2) 期日・会場・参加者等

| 部門 | 月日会場 | 期 日 | 会 場 | 参加者 |
|-------|------|----------------|----------|-----|
| 文 学 | 昭 | 昭和48年5月12日～14日 | 国立磐梯青年の家 | 36名 |
| 舞 踊 | " | 8月25日～27日 | " | 45 |
| 美 術 | " | 9月1日～3日 | " | 36 |
| 演 劇 劇 | 昭 | 昭和49年1月18日～20日 | 県立少年自然の家 | 81 |
| 合 唱 | " | 1月26日～28日 | 国立磐梯青年の家 | 50 |

(3) 講 師

- ① 文学部門 佐藤民宝(県芸芸誌協会会長) 宗像喜代治(県芸術文化協会員) 木村常利(前同) 作山暁村(前同) 伊藤松風(県現代俳句連盟事務局長)
 - ② 舞踊部門 長沢ともゑ(県民踊指導者連絡協議会長) 鈴木武子(前同副会長) 松本敬信(相馬市民芸会) 太田 誠(前同)
 - ③ 美術部門 日本画 飯塚栖園(日本画院同人) 洋画 渡部憲司(日本水彩画会々員) 版画 福田利秋(集団版会員) 書 村上皓南(謙慎書理事)
 - ④ 演劇部門 永曾信夫(桐朋大学助教授) 今井徳年(県演劇協議会事務局長) 俳優 久住真理子(俳優座) 大場健二(プレヒト)
 - ⑤ 合唱部門 大中 恩(作曲家) 高野広治(全日本合唱連盟常任理事) 五十嵐庸夫(福西女高教諭) 小関 斉(福島高教諭)
- (4) モデル公演・事例発表